

使途の周知について

1 趣旨

宿泊税が目的に沿って有効に活用されていることを周知することにより、宿泊税の制度や納付に対する宿泊事業者、宿泊者及び市民の理解を深め、制度の安定的な運営につなげる。

2 他自治体の事例

- ・ 決算ベースでの使途を WEB で公開している自治体
大阪府・京都市・倶知安町・福岡市

3 今後の対応案

- ・ 福岡市観光産業課の事例を参考に、写真を中心とした見やすく、分かりやすい資料を作成し、公表する。

【事例（福岡市）】



令和3年度に宿泊税を活用した事業のご報告

福岡市内に宿泊された皆様の宿泊税を、九州のゲートウェイ都市としての機能や観光の魅力をさらに高めるために活用させていただきましたので、ご報告いたします。

「また福岡市に来たい」と思っただけのよう、今後も観光・MICE 振興に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



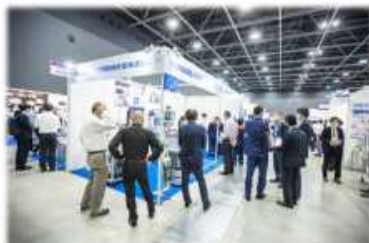
美術館前のデジタルサイネージ



地域資源を活用した
滞在コンテンツの造成



リモート観光案内
(福岡空港国内線)



マリンメッセ福岡B館で開催された
展示会の様子

※実施した事業の内容は次ページ以降にてご報告いたします。

<令和3年度 宿泊税充当事業のご報告> ※各事業費は最終ページに記載

宿泊事業者受入環境充実の支援《経済観光文化局》

宿泊事業者を対象とした『受入環境充実支援補助金』を引き続き実施し、多様な宿泊ニーズへの対応や、お客様の安全・安心に取り組む宿泊施設の受入環境の整備を支援しました。

令和3年度は、『利便性の向上』、『おもてなし力向上』、『災害対応強化』に向けた取組みが実施されました。(補助件数：47件)

<補助金を活用して導入されたもの>



バリアフリー整備
→階段部分にスロープを設置して、車いす等のお客様にもご利用いただきやすい環境が整備されました。



ホームページの多言語化
→英・中・韓の3か国に多言語化し、インバウンドのお客様に対する受入環境が整備されました。



災害対応強化
→ストレッチャーや備蓄用の毛布などを準備することで、災害時の安心・安全に繋がる取組みが実施されました。



Fukuoka East & West Coast プロジェクト



仕事も遊びも全力になれるまちを目指し、志賀島・北崎地区の海辺の魅力をさらに高め、地域の観光振興・活性化を推進する「Fukuoka East & West Coastプロジェクト」を進めました。

海辺を活かした観光振興(志賀島・北崎)《経済観光文化局》

<令和3年度の具体的な取り組み>

- ・地域資源を活用した滞在コンテンツの造成
- ・サイクルツーリズムの促進に向けた、観光案内板の設置
- ・潮見公園展望台を活用したフォトスポット造成



地域資源を活用した滞在コンテンツの造成



観光案内板の設置



潮見公園展望台フォトスポット造成

海辺を活かした観光振興に向けた道づくり《道路下水道局》

<令和3年度の具体的な取り組み>

- 志賀島地区：無電柱化に向けた設計
- 北崎地区：歩道美装化工事、無電柱化工事



北崎地区の美装化された歩道

デジタルサイネージを活用した情報発信の強化《経済観光文化局》

福岡城や博多旧市街など、エリア観光を推進するための観光プロモーション動画を制作し、新たに設置した市美術館デジタルサイネージ等で放映しました。



美術館前のデジタルサイネージ



観光プロモーション動画

博多旧市街プロジェクト《経済観光文化局》



博多部の価値ある資源をストーリーとまちなみでつなぎ、市民や来訪者に楽しんでもらえる環境を整え、エリア全体の魅力を高めていく「博多旧市街プロジェクト」に取り組みました。

<令和3年度の具体的な取り組み>

- ・地下鉄祇園駅の副駅名に「博多旧市街口」を設定し、駅構内を装飾
- ・音声ARを活用したまち歩きガイドアプリのメニュー拡充
- ・地域や民間事業者と連携した「博多旧市街セレクション」のプロモーション



博多旧市街口(祇園駅)装飾



音声ARを活用したまち歩きガイドアプリ

観光客等の移動円滑化施策の推進《交通局》

観光・ビジネス客の利用が多い地下鉄駅において、移動円滑化やバリアフリールートの実現を図るため、エレベーターやエスカレーターを増設しました。

<令和3年度の具体的な取組み>

- ・博多駅筑紫口のエスカレーター設置工事
- ・天神駅東口のエレベーター設置工事



博多駅筑紫口エスカレーター
(令和3年9月供用開始)



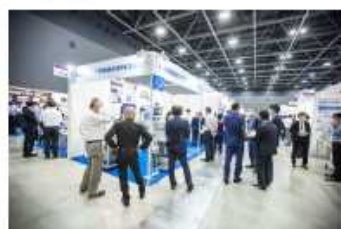
天神駅東口エレベーター
(令和3年10月供用開始)

国内を代表するMICE拠点の形成《経済観光文化局》

MICE拠点の形成を目指し、展示会を中心にコンサート・会議など多目的に利用できるマリンメッセ福岡B館を整備し、供用を開始しました。



マリンメッセ福岡B館
(令和3年4月供用開始)



マリンメッセ福岡B館で開催された
展示会の様子

Withコロナ期におけるMICE誘致・支援事業《経済観光文化局》

MICE誘致強化のため、「Meeting Place Fukuoka」の体制強化等を実施し、オンラインで国際見本市や高談会等に参加しました。

観光案内機能の強化事業《経済観光文化局》

ICTを活用した非対面・非接触のリモート観光案内システムを『福岡空港国内線』、『博多駅総合案内所』、『天神ライオン広場』、『福岡国際会議場』の計4カ所に導入しました。



福岡空港国内線



博多駅総合案内所



天神ライオン広場

Fukuoka City Wi-Fiの拡充《市長室、経済観光文化局》

国内外からの観光客の利便性向上を図ることを目的として、地下鉄駅等における公衆無線LANのアクセスポイントを増設するなど、通信品質向上を図りました。

災害時の観光客対応強化事業《経済観光文化局》

観光情報サイト「よかなび」内における災害情報ページ（英語版）の作成や、発災直後に宿泊施設が対応すべき内容をまとめた「緊急対応リスト」を作成しました。

持続可能な観光振興の検討《経済観光文化局》

今後の観光・MICE振興にかかる施策の検討・立案のため、交通結節点等における来訪者のアンケート調査等を行いました。一部の調査結果については、宿泊事業者の皆さまへ情報提供しました。

公衆トイレ環境の向上《環境局》

観光地周辺に立地する公衆トイレの洋式化等を行いました。

宿泊税の賦課徴収に要する経費《財政局》

宿泊税の円滑な賦課徴収のため、旅行者に向けた広報を行ったほか、宿泊事業者の特別徴収に係る経費の一部を支援する報償金を交付しました。

令和3年度の宿泊税収入 1,110,598千円

令和3年度に宿泊税を活用して実施した事業 ※金額は事業費

令和3年度決算額：2,036,776千円（うち宿泊税充当額：867,357千円）

※宿泊税収入と充当額の差額は翌年度以降に実施する事業（繰越事業含む）に活用します。

(1) 九州のゲートウェイ都市機能強化 1,470,245千円

国内を代表するMICE拠点の形成	1,396,086千円
観光案内機能の強化事業	16,473千円
Fukuoka City Wi-Fiの拡充	17,189千円
デジタルマーケティングを活用した回遊分析	16,133千円
九州広域連携誘客事業	4,662千円
デジタルサイネージを活用した情報発信の強化	19,701千円

(2) 大型MICE等の集客拡大への対応 41,376千円

災害時の観光客対応強化事業	3,009千円
博多旧市街プロジェクト	10,025千円
生の松原元寇防塁集客促進事業	3,885千円 (※)
繁華街対策事業	2,271千円
Withコロナ期におけるMICE誘致・支援事業	9,826千円
魅力あるナイトコンテンツの創出	2,361千円 (※)
文化財を活用した魅力ある観光資源の創出	10,000千円

(3) 地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進 473,864千円

宿泊事業者受入環境充実の支援	8,055千円
海辺を活かした観光振興(志賀島・北崎)	44,214千円
海辺を活かした観光振興に向けた道づくり	331,668千円 (※)
観光客等の移動円滑化施策の推進	74,633千円 (※)
持続可能な観光振興の検討	6,414千円
公衆トイレ環境の向上	8,879千円

(4) 宿泊税の賦課徴収に要する経費 51,291千円

- ・ (※) の事業は翌年度に繰越しを行いました。
- ・ 各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合があります。